

平成 28 年 3 月 8 日

九州考古学会会員各位九州考古学会

会長 武末純一第 12 回九州考古学会・嶺南考古学会合同考古学会について

謹啓 時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素より当会の活動にご協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、第 12 回九州考古学会・嶺南考古学会合同考古学大会を下記の予定にて開催いたします。ご検討の上、お申し込み下さい。旅行申込書・渡航手続きのためのお伺い書、宿泊ホテル・学会会場の案内図につきましては、下記のリンクから PDF データを取得できます。ご記入の上、直接旅行会社にお送りください。

プログラム・遺跡見学等の詳細につきましては、決定次第九州考古学会ホームページ (<http://scs.kyushu-u.ac.jp/~yt1/society/index.html>) にて逐次お知らせいたしますので、ご注目ください。

末筆ながら、会員の皆様のますますのご健勝をお祈り申し上げます。

謹白

1. 開催期間：2016 年（平成 28 年）8 月 18 日（木）～21 日（日）

2. 場所：韓国 東亜大学校 富民洞キャンパス 国際館ダウホール（DAU HALL）

3. 日程

8 月 18 日（木）韓国入国・遺跡見学

8 月 19 日（金）合同学会 1 日目（自由発表）・懇親会

8 月 20 日（土）合同学会 2 日目（テーマ発表）

8 月 21 日（日）遺跡見学・帰国

4. テーマ発表 発表者

テーマ 日韓の装身具 青銅器時代から原三国時代—弥生時代

- ・大坪志子（熊本大学）「弥生時代における九州のヒスイ製勾玉の系譜」
- ・谷澤亜里（九州大学）「弥生時代後半期における玉類の舶載：ガラス製玉類を中心に」
- ・田尻義了（九州大学）「弥生時代における金属製装身具の展開」

- ・高旻廷（慶南發展研究院）「韓日装身具の交流」
- ・楊娥琳（嶺南大學校博物館）「装身具（水晶切子玉）の製作と流通」
- ・李陽洙（國立中央博物館）「装身具（青銅遺物）に示された位階と意味」

自由発表 発表者

[口頭発表]

- ・河村好光（石川考古学研究会）「ロシア沿海地方の玉（仮）」
- ・山崎頼人（小郡市埋蔵文化財調査センター）「日韓青銅斧の比較研究—三国丘陵地域における日韓交流—」
- ・渡邊泰伸（東北学院大学）・門脇佳代子（東北福祉大学）「古代東北地方における渡来文化の伝播について—宮城県大和 町所在の船形神社御神体をめぐって—」

- ・許俊亮（国立慶州文化財研究所）「韓半島と日本列島出土区分磨研青銅武器の變遷」
- ・李東冠（国立晋州博物館）「古墳時代前期異型板狀鐵斧の流入とその系譜」
- ・金載烈（韓國文化財財團）「新羅裝身具の研究傾向検討」

[ポスター発表]（嶺南側追加募集中）

- ・小林啓・加藤和歳（九州歴史資料館）・森下靖士・甲斐孝司（古賀市教育委員会）・岩橋由季（九州大学大学院）「船原 古墳遺物埋納坑出土馬冑の科学的調査」
- ・山崎悠郁子（春日市教育委員会）「須玖タカウタ遺跡出土土製鑄型の内部構造と保存処理方法」
- ・佐藤浩司（北九州市芸術文化振興財団埋蔵文化財調査室）「城野遺跡の玉生産と集落」
- ・池田拓（福岡大学大学院）「大陸における金属類回収の様相—小倉造兵廠跡出土遺物から—」
- ・村松洋介（佐賀県教育庁）「吉林省地域の青銅器鑄型 - 通化市小都嶺遺跡採集資料の検討2 - 」

- ・金載烈（韓國文化財財團）「林堂遺蹟造永洞高塚群出土裝身具紹介 - 最近報告書刊行資料を中心に - 」

★[旅行申込書・渡航手続きのためのお伺い書はこちら](#)

★[宿泊ホテル・会場の案内図はこちら](#)

*詳細は決定次第、ご連絡いたします。

以上